

利用の手引き

1. 本統計資料集は、各種統計機関から発表された人口に関する基本的な統計を網羅するとともに、それらに対して国立社会保障・人口問題研究所が割合や率の算出など比較的簡単な加工を加えた資料から構成されている。ただし、安定人口構造の算出や平均余命への年齢別死亡率低下の効果分析など、一部にはやや高度な加工を行ったものもある。
2. 各表には、出典や留意すべき事項を脚注に示している。ただし紙幅の都合上、いずれも必要最小限度にとどめてあるため、より詳しい事項については原典を参照されたい。本手引きの最後には、本資料集に用いた主な統計（調査・報告書）の一覧を付している。
3. 掲載表はできるかぎり時系列表を含めている。
4. 表の配列は、各テーマ（12の中項目、および細分テーマ）ごとに「日本→世界と世界の主要地域→主要各国」という順に配列されている。
5. 数値の表章単位未満は、原則として四捨五入によりまるめている。したがって、合計の数値と内訳の合計とが一致しない場合もある。
6. 表中に用いた記号の意味は次のとおりである。
 - … その事象が出現することは本質的にありえない場合、または表章することが不適当な場合
 - … 統計数値が得られない場合
 - その事象が出現する可能性をもっているが、統計上出現しない場合
 - 0(0.0) 表章単位に満たないもの

2010年版における主な変更点

1. 新規に掲載した統計図表
表7-11 ヨーロッパ諸国の世帯の種類別世帯数および世帯人員
表7-18 性、配偶者の有無、家族形態別65歳以上人口

2. 削除した統計図表（前年版の図表番号）
表7-11 主要国の世帯人員別世帯数、世帯人員総数および平均世帯人員
表7-14 主要国の核家族世帯割合
表7-19 子との同別居状況別にみた65歳以上の数および割合

人口統計資料集に用いた主な統計（調査・報告書）

調査・報告書名	刊行・編集機関	刊行周期	最新年次	主な表章・分類事項
国勢調査報告	総務省統計局	5年毎	2005年10月1日	人口 …性, 年齢, 配偶関係, 就業状態, 国籍 世帯 …世帯の種類, 世帯主 の年齢, 子ども数 その他 …面積, 市町村数, 人口 増減, 人口密度
人口推計年報	総務省統計局	毎年	2008年10月1日	人口 …性, 年齢
日本帝国統計年鑑*	内閣統計局*		(1876～1938年)	人口 出生・死亡・婚姻・離婚
明治五年以降我が国の人団 在留外国人統計	内閣統計局 法務省入国管理局	毎年	(1872～1920年) 2008年末	人口 登録外国人人口 …性, 年齢, 在留資格
全国高齢者名簿 海外在留邦人数調査統計	厚生労働省老健局 外務省領事局	毎年 毎年	2009年 9月15日 2008年10月1日	100歳以上人口(名簿) 現在海外在留 ・長期滞在者数 …性, 職業
日本の将来推計人口	国立社会保障・人口問題研究所	(約5年毎)	2006年12月推計	将来人口 …性, 年齢
都道府県別将来推計人口	国立社会保障・人口問題研究所	(約5年毎)	2007年 5月推計	将来人口 …性, 年齢
日本の世帯数の将来推計 (全国推計)	国立社会保障・人口問題研究所	(約5年毎)	2008年 3月推計	将来世帯数
日本の世帯数の将来推計 (都道府県別推計)	国立社会保障・人口問題研究所	(約5年毎)	2009年12月推計	将来世帯数
過疎対策の現況	総務省自治行政局	毎年	2009年 4月1日	過疎自治体数・人口
労働力年報	総務省統計局	毎年	2008年	労働力人口
事業所・企業統計調査	総務省統計局	5年毎	2006年10月1日	事業所数, 就業者数
学校基本調査報告	文部科学省生涯学習政策局	毎年	2009年 5月1日	進学率・就職率
人口動態統計	厚生労働省統計情報部	毎年	2008年	出生 …性, 父母の年齢, 順位 死亡・死産 …性, 年齢, 死因 婚姻 …性, 年齢, 初再婚の別 離婚 …性, 年齢, 離婚種類
住民基本台帳人口移動報告	総務省統計局	毎年	2008年	移動者 …性, 府県内, 府県間
出入国管理統計	法務省司法法制調査部	毎年	2008年	出入国者数 ・登録外国人人口 …性, 年齢, 国籍, 目的
衛生行政報告例 (衛生年報) (母体保護統計報告)	厚生労働省統計情報部	毎年	2008年	不妊手術件数 ・人工妊娠中絶件数 …性, 年齢, 実施率
生命表(完全生命表)	厚生労働省統計情報部	5年毎	2005年	生命表閏数
簡易生命表	厚生労働省統計情報部	毎年	2008年	生命表閏数
都道府県別生命表	厚生労働省統計情報部	5年毎	2005年	生命表閏数
出生動向基本調査 (出産力調査)	国立社会保障・人口問題研究所	5年毎	2005年	夫婦数, 子ども数, 意識
国民生活基礎調査 (厚生行政基礎調査)	厚生労働省統計情報部	毎年	2008年	人口・世帯数 …世帯構造, 世帯類型 …所得

人口統計資料集に用いた主な統計（調査・報告書）（つづき）

調査・報告書名	刊行・編集機関	刊行周期	最新年次	主な表章・分類事項
Demographic Yearbook The Aging of Population and Its Economic and Social Implications (Population Studies, No26)	United Nations	毎年	2007年 1956年刊行	人口, 人口動態 人口
The Determinants and Consequences of Population Trends	United Nations		1973年	人口
World Population Prospects The Sex and Age Distribution of the World Population	United Nations	不定(2年毎) 不定(2年毎)	2008年推計 2008年推計	将来人口 将来人口
World Population to 2300	United Nations		2003年推計	将来人口
World Urbanization Prospects	United Nations	不定(2年毎)	2007年推計	将来都市人口
Population and Vital Statistics Report (Statistical Papers)	United Nations	年2回	2008年	人口動態
Recent Demographic Developments in Europe	Council of Europe	毎年	2005年	人口動態
Population and Social Conditions	Eurostat	毎年	2008年	人口動態
National Vital Statistics Report	United States	毎月	2007年	人口動態
World Health Statistics	World Health Organization	毎年	2007年	死亡, 平均寿命
Global burden of disease: 2004 update	World Health Organization		2004年	死因別標準化死亡率
Yearbook of Labour Statistics	International Labour Organization	毎年	2008年	就業状態 …性, 年齢

*内閣統計局『日本帝国統計年鑑』の正式名称は以下のとおりである。

- 統計院 『統計年鑑』(1882年刊行)
 - 『第二統計年鑑』(1883年刊行)
 - {
 - 内閣統計局『日本帝国第五統計年鑑』(1886年刊行)
 - {
 - 内閣統計課『日本帝国第十三統計年鑑』(1894年刊行)
 - {
 - 内閣統計局『日本帝国第十八統計年鑑』(1899年刊行)
 - {
 - 国勢院第一部『日本帝国第三十九統計年鑑』(1921年刊行)
 - 『日本帝国第四十統計年鑑』(1921年刊行)
- 統計局 『第四十一回日本帝国統計年鑑』(1922年刊行)
 - {
 - 内閣統計局『第四十三回日本帝国統計年鑑』(1924年刊行)
 - {
 - 『第五十六回大日本帝国統計年鑑』(1937年刊行)
 - {
 - 『第五十九回大日本帝国統計年鑑』(1941年刊行)

本資料集における世界主要地域の構成

I. アフリカ	リベリア マリ モーリタニア ニジェール ナイジェリア セントヘレナ セネガル シエラレオネ トーゴ	イスラエル ヨルダン クウェート レバノン パレスチナ オマーン カタール サウジアラビア シリア トルコ アラブ首長国連邦 イエメン	スペイン 旧ユーゴスラビア 一マケドニア 4. 西部ヨーロッパ オーストリア ベルギー フランス ドイツ リヒテンシュタイン ルクセンブルク モナコ オランダ スイス	ブラジル チリ コロンビア エクアドル フォークランド諸島 仏領ギアナ ガイアナ パラグアイ ペルー スリナム ウルグアイ ベネズエラ
1. 東部アフリカ ブルンジ コモロ ジブチ エリトリア エチオピア ケニア マダガスカル マラウイ モーリシャス モザンビーク レユニオン ルワンダ セーシェル ソマリア ウガンダ タンザニア ザンビア ジンバブエ	香港特別行政区 マカオ特別行政区 日本 朝鮮民主主義人民共和国 韓国 モンゴル	III. ヨーロッパ 1. 東部ヨーロッパ ベラルーシ ブルガリア チェコ共和国 ハンガリー ポーランド モルドバ共和国 ルーマニア ロシア連邦 スロバキア ウクライナ	IV. ラテンアメリカ 1. カリブ海 アンギュラ アンティグア・バーブーダ アルバ バハマ バルバドス 英領バージン諸島 カイマン諸島 キューバ ドミニカ ドミニカ共和国 グレナダ グアデループ ハイチ ジャマイカ マルティニク モントセラト オランダ領アンチル プエルトリコ セントキット・ネイビス セントルシア セントビンセント・ グレナディーン トリニダード・トバゴ タークス・カイコス諸島 米領バージン諸島	V. 北部アメリカ バーミューダ カナダ グリーンランド サンピエール・ミクロン アメリカ合衆国
2. 中部アフリカ アンゴラ カメルーン 中央アフリカ チャド コンゴ コンゴ民主共和国 赤道ギニア ガボン サントメ・プリンシペ	アフガニスタン バングラデシュ ブータン インド イラン カザフスタン キルギスタン モルディブ ネパール パキスタン スリランカ タジキスタン トルクメニスタン ウズベキスタン	2. 南部ヨーロッパ チャネル諸島 デンマーク エストニア フェロー諸島 フィンランド アイスランド アイルランド マン島 ラトビア リトアニア ノルウェー スウェーデン イギリス	2. 北部ヨーロッパ ラトビア リトアニア ノルウェー スウェーデン イギリス	VI. オセアニア 1. オーストラリア・ ニュージーランド オーストラリア ニュージーランド ノーザンク諸島
3. 北部アフリカ アルジェリア エジプト リビア モロッコ スー丹 チュニジア 西サハラ	ブルネイ・ダルサラーム カンボジア インドネシア ラオス マレーシア ミャンマー フィリピン シンガポール タイ	3. 南東部アジア アルネイ・ダルサラーム カンボジア インドネシア ラオス マレーシア ミャンマー フィリピン シンガポール タイ	3. 南部ヨーロッパ アルバニア アンドラ ボスニア・ヘルツェゴビナ クロアチア ジブラルタル ギリシャ ホリシー イタリア マルタ ポルトガル サンマリノ セルビア・モンテグロ スロベニア	2. メラネシア フィジー ニューカレドニア パプアニューギニア ソロモン諸島 バヌアツ
4. 南部アフリカ ボツワナ レソト ナミビア 南アフリカ スワジランド	東ティモール ベトナム	4. 西部アジア アルメニア アゼルバイジャン バーレーン キプロス グルジア イラク	3. 南アメリカ ベリーズ コスタリカ エルサルバドル グアテマラ ホンジュラス メキシコ ニカラグア パナマ アルゼンチン ボリビア	3. ミクロネシア グアム キリバス マーシャル諸島 ミクロネシア連邦 ナウル 北マリアナ諸島 パラオ
5. 西部アフリカ ベナン ブルキナファソ カーボベルデ コートジボワール ガンビア ガーナ ギニア ギニアビサウ			4. 中央アメリカ ベリーズ コスタリカ エルサルバドル グアテマラ ホンジュラス メキシコ ニカラグア パナマ アルゼンチン ボリビア	4. ポリネシア 米領サモア クック諸島 仏領ポリネシア ニウエ ピトケアン サモア トケラウ トンガ ツバル ワリス・フツナ諸島

地域および国の名称は UN, *Demographic Yearbook* に用いている英語名を邦訳した。